第 19 回文京区看護職交流会
事後アンケート集計結果

I. 開催概要

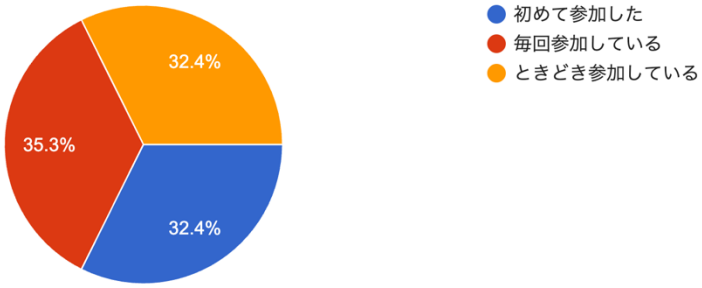
- 日時：2025.7.17（木） 18:30-20:30
- 場所：文京区区民センター2A 会議室
- 参加者：47 名（受講者 44 名、講師 3 名）

II. アンケート結果

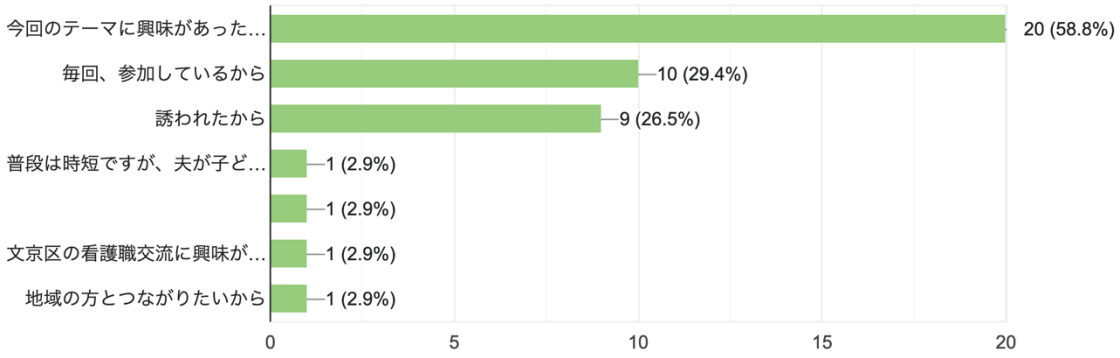
- 受講者回収数 34（回収率：77.3%）

【結果概要】

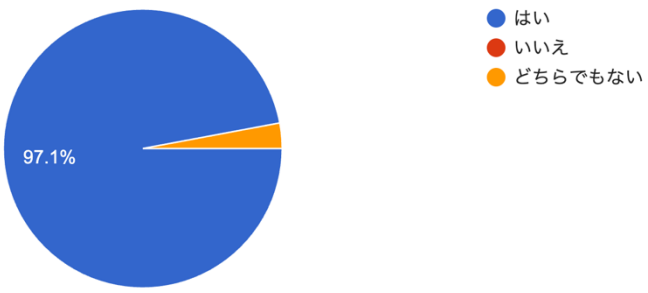
1. 今回の参加は何回目ですか？ご参加の頻度についてお尋ねします。
34 件の回答



2.今回、なぜ参加しようと思いましたか？（複数選択可）
34 件の回答



3. 今日の交流会は今後のあなたに生かせそうですか？
34 件の回答



4．交流会の感想

【まとめ】

対話・聞くことの学び
・　聴く姿勢の再認識や、相手をジャッジせずフラットに聞くことの大切さを実感 ・　話し手と聞き手の役割を体験し、時間の感じ方の違いや対話の難しさ・心地よさを発見
安心・安全な空間での体験
・　否定されない環境で自分のことを話せる安心感 ・　徳村先生の進行による心地よい雰囲気とリラックスできる時間
自己理解・気づき
・　自分の感情や考えを言葉にする難しさと、それによる自己理解の深まり ・　普段は聞き手が多い看護職が話し手になることの困難さを実感
交流・つながり
・　職場を超えた交流による視野の広がり ・　同じ看護職同士の共感とつながりの実感
今後への活用意識
・　日常業務での対話の重要性を再認識 ・　相手の話を待つこと、沈黙を受け入れることの大切さを学習

以下は生データ

- 聴く姿勢を再認識できました！
- 自分のことを話すことは難しいと感じつつ、否定されない、共感してもらえるという前提があることで、安全で安心できる空間で自分のことを話すことができました。
- 話し手に対してフラットに聞くことを体験し、話し手の思いを馳せることで話し手の理解が深まりました。
- 皆さんに会えると元気をいただけるので、毎回楽しみに参加させていただいております。
- 本日も徳村先生のゆったりとした進行で、心地よい雰囲気の中皆さんと交流することができました。
- 日々、仕事の間は常に頭を回転させながら次のこと、次のこと！と走っている感じなので、今日は特にリラックスできて頭がスッキリしました。
- 普段、ゴールを設定せずにゆっくり自分の話をする（対話の）機会はないので、『3 分でも時間を確保して耳を傾けてもらえるというのはこんなに心地よいんだ～』と新鮮な感覚でした。
- また、尊重し、ジャッジせず、相手の語りに耳を傾ける、ということも意図的にやってみたいと思いました。
- 貴重な体験ができました！対話って難しいけど、心地いい！
- 話をすること聞くことがこんなに楽しいんだ！って思える会でした。
- 話し手になりましたが、否定も肯定もされずただ聞かれるということに不思議な感覚を味わいました。そしてそうされることで、自分の考えていることを言葉にして行かなければならず、おのずと自分が何を思っているのか、その感情を言葉にしていくという経験をして、今私はこんなことを考えていたんだと自分を自覚できました。
- 普段人の話を聞く事は、その人の世界は感じるもしくはその世界に引き込まれる思いで聞いていました。自分が話すと言うことがなかなか難儀な経験でした。
- 聞き手側のことが多いのですが、今回話し手となり時間の長さを感じました。逆に聞き手になった時の時間の速さにはびっくりしました。
- 同じチームの方の話を聞くのが単純に楽しかったです！自分の話をありのまま受け止めてくれている感じが心地よかったです。
- 私は聞き手であったが、話し手の方が嬉しそうに語る体験を聞いて、その体験自体を私がしているわけではないのですが、「嬉しかった」

「楽しかった」感情を共有できたように思いました。
- 自分と相手と向き合える良い時間でした。ありがとうございました。
- 楽しかったです
- ゆるい雰囲気で良かった
- ゆったりした時間でした。対話を味わう、と言う意味を感じた時間でした。ありがとうございました。参加者の皆さんが笑顔で帰られたのが、嬉しかったです。
- 最近はいろいろな職種の方や仕事についていない方と関わる機会があり、看護職に就く方は本当に「人」に興味を持って接する人なんだと感じました。
- 職場を超えた交流会でいろいろな意見が聞けて良かった。
- 会話の難しさを感じました
- 率直な感想として、参加された方たちとお話することができ、輪が広がっ他事が嬉しかったです。
- 自分の感情や伝えたい事を、いざ話すとなると上手に言葉に乗せる事が出来ないなと思いました。上手く乗せる必要はないと頭では分かっていても、分かりやすく上手く伝えないとという気持ちが先行しました。
- 一緒に参加した同じステーションのスタッフで今日の研修について話し合ったところ、みんな自分の考えを話すことが難しかったとのことでした。
- あと私は自分の話で相手の時間を割いてしまっている気がしてそれが申し訳なく感じてしまいました。それを踏まえて特に看護師は患者さんや、利用者さんの状態や気持ちを聞く側、気持ちを引き出して受け止める側の立場で、普段自分の話を必要以上にする事はなかったりするので、自分の気持ちを抑えて相手に合わせるという事に慣れて、いざ自分の気持ちを言葉に乗せて話して下さいと言われても、それが難しい職種なのかなと思いました。
- 役職　事業所も関係なく話ができて　ほんの短い時間ですごく近い関係構築がしました　自分が感じることにあまり意識をしていないという言葉を聞いて　そうなんだとあらためて気づいた気がします　職場では難しいかもしれませんが　時々こういう機会があるとスタッフや色々な人がいろいろな気づきを得るのかもしれないと思わされましたそこにいる
- 自分自身のことにも気付きがありました。聞くことに徹することをしてみて、普段は相手の会話で同調するときは遮っていたな、。と振り返ることができました。
- まきさんのご経験、想い、に学びや愛デアが優しくしなやかに重なり、たからこそ生まれる高心理的安全性空間にわたしの緊張はついほぐれ、抑えているわたしじしんの言葉もわたしが聴ける、、、トムアンデルセンさんの代表作のご本の著名なあの表紙の絵を、実体験できてしまい、嬉しい驚き！まきさん、そしてご企画くださいましたみなみなさま、心より深く感謝申し上げます。また参加させてくださいませ。
- 元々話すのは苦手意識あり、昨日の WS を通して再認識しました。また、話すと聞くを分けることを意識してみて、聞き上手だと思っていたが、実は待てていないことを再認識しました。沈黙も苦手で何か話さなくては！と焦り話題に尽きて対話が続かないと思っていましたが、待つことも今後は意識できるようにしていきたいです
- 対話、会話、大切なことだなと思います。特に訪問看護ではこれに尽きるなと思います。
- 自分自身を見つめ直す機会になった。
- 徳村先生の話し方にとても惹きつけられわかりやすく楽しくワークショップに参加出来ました。ありがとうございました。
- 普段の自分を見つめ直しました。
- よい経験になりました。看護職の方とよい時間よい気付きがありました。対話を続けることが大事ですね。
- 出会ったばかりの方達と、こんなにも安心して話しができるなんて、そして聴いていても心地がよくて、不思議な時間でした。ありがとうございました。
- 交流会のテーマからは想像がつかなかったのですが、対話について深掘りしながら楽しみ有意義な会でした
- ダイアログは地域の孤独、孤立を解決するための大切なものです。思うようには扱えませんが楽しい体験でした。知らない人に出会うことが楽しいです。ひとが好きです。

５．徳村先生のご講義の中で印象に残った言葉を教えてください

【まとめ】

対話の本質・姿勢
- 「聞く」と「話す」を分けること
- 対話と会話の違い
- 安易に結論や答えを出そうとしない
- 解決しようとしない、アドバイスしない

相手への向き合い方
- ジャッジせずに聞く、評価しない
- 相手に思いを馳せる
- 相手と自分は違う存在
- 相手がどう受け取るかはわからない

自分自身との向き合い方
- 自分が感じたことを大切にする
- 何を感じても、何を言っても、どんなふうに感じてもよい
- 完璧ではなくてもよい

元気・回復の概念
- 元気になることは「気を元に戻すこと」
- 対話を続けることで元気になる
- 体の力を抜いて始まる時間

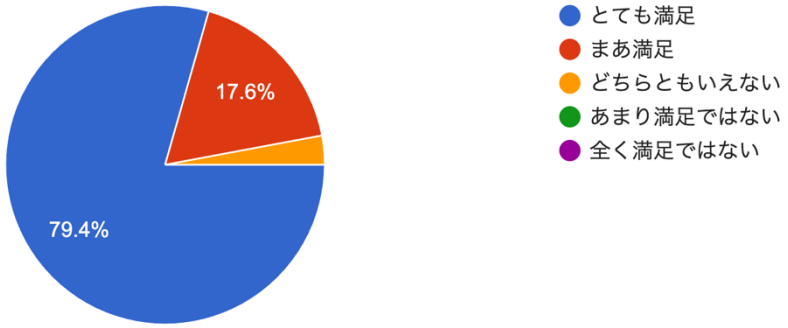
実践的な配慮
- カジュアルに楽しむ姿勢
- ゆったり話すこと

以下は生データ

- 安易に結論や答えを出そうとしないこと
- 自分が感じたことを大切にすること/相手の思いを馳せる
- "「きく」と「話す」をわけること"が印象に残りました。普段、仕事でもそれ以外の場面でも、相手の話をきくことはどちらかというと心がけている方かな、と思っていましたが、案外"対話"ではなく"会話"になっていたかもしれない。考えを判断されず、安心して話せる、ということを体験できて有意義でした。ありがとうございました。
- 相手に思いを馳せる　解決しようとしてないか
- ジャッジせずに聞く
- 何を感じてもいいし、何を言ってもいいし、どんな感情でもそれはそれでいいと言うこと。
- それぞれが感じたことは全てで受け取り側の思いも全てということ。
- 対話、きく
- 最後に、完璧ではないと仰っていて、よく自分が発した言葉をあとから「大丈夫だったかな？」と思い返すことがあるので、完璧じゃないのはよくあることと思っていいんだなと思いました。
- 評価しない。相手がどう受け取るかはわからない。
- 自分の感じたことを大切にしてほしいという言葉。よりそい
- 相手と自分は違う？
- 自分が感じたことを大切に扱うこと
- 語り手の言葉に思いをはせる、場に置いてくる、哲学的です。
- そこに在るという事
- 聴く事の大切さ、ゆっくり人の話を聴く事、アドバイスや批判をしないでしっかり聴く事が大切との言葉が印象的でした。
- 言葉を置く
- オープンダイアローグは、治療ではない、アドバイスなど必要としない、解決しようとしない。ただ対話を続ける事、正解はない。否定しない、ただ話す事、それを聞くこと、そこにお互いが在ること。解決させようとしないこと。
- そこにいる
- 会話と対話の違い。相手の話を聞くということ
- 聞きやすい話し方が魅力的だった
- 開かれた対話。対話という言葉を普段あまり意識してなかった。
- 途中から参加で申し訳ございません。帰り際に緊急対応があり心が落ち着かない状況も、まきさんのあたたかく包み込んでくださるような、ノージャッジな雰囲気を始終感じていました、言葉を超えまして。またまきさんの活動フライヤー、資料も、とても嬉しい Quality！こうした言葉を超えた message が印象的でございました！
- あること、そのまま受け止める,対話を続けることで元気になる
- 元の気になる対話
- ワークをする時に回避方法を伝えてくれたのが印象的でした。
- カジュアルに楽しむ
- 対話を続ける
- ゆったり話すところ。
- 言葉をそこに置く　マインドが大事
- 「対話」です,知っているようで知らなかったことです,体の力を抜いて、から始まる不思議な時間に元気をもらいました
- 元気になる事は気を元に戻すこと,すとーんと腑に落ちた言葉でした
- ダイアログを続けることが目的

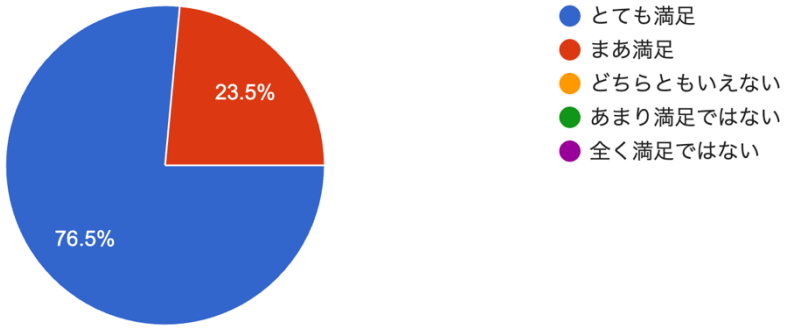
6.本日の内容についてお尋ねします。第一部（講...ルダイアログについて）の満足度を教えてください

34 件の回答



7.本日の内容についてお尋ねします。第二部（グループセッション）の満足度を教えてください

34 件の回答



8. 今後の活動に期待すること、実施してほしいことを教えてください

【まとめ】

継続への期待
・ 今回のような対話の機会の継続 ・ 交流会の定期的な開催 ・ 無理なく続けられる活動への期待
交流の拡大
・ 様々な分野の看護職同士の交流、多くのステーションとの交流機会 ・ 看護職以外の支援者との交流
テーマ・内容の発展
・ 対話から実際の活かしかたへの展開 ・ 事例検討 ・メンタルヘルスに関するテーマ ・災害時の活動、地域ケアなどの具体的な活動

支援者の well-being
・　ケアラー側が元気になる企画 ・　支援者のリフレッシュ機会、モチベーション向上につながる機会
学習・成長の機会
・　個人のステーションでは呼べない講師の講演 ・　地域貢献のテーマ選定
運営に関すること
・　グルーワークは少なめにしてほしい ・　フランクで参加しやすい雰囲気の維持

以下は生データ

- 今後も自由な対話の時間を共有したい
- 初めて参加させていただきました。様々な分野の看護師が交流し何か活動できたら素晴らしいと思います。例えば、災害時の活動、地域ケア
- 毎回「参加できてよかった」と思いながら帰路に着いています。皆さんお忙しいことと思いますがいつも素敵な企画をありがとうございます
- 違う職場、違う立場で働いていても、看護職っていいよね！と感じられる場は貴重だなと思っています。
- また、以前ももうけていただきましたが、看護職以外の様々な支援者の皆さんと交流する機会もありがたいです。
- 本日も貴重な機会をありがとうございました。
- また対話の機会持てたら嬉しいです！
- いろいろな看護職の方と話ができる機会があると嬉しいです。
- 事例検討かな、深く感動できる体験をしたい。
- 会話を対話寄りにしていきたいと思いました。
- 地域のいろいろな支援者と知り合える機会を続けていただけると嬉しい
- 本日楽しく参加させていただきました。また宜しくお願いいたします。
- 私たちケアラー側が well-being を得られる機会をふやしていってほしいです
- 今回のように皆さんとお話できる機会が嬉しいです。
- 対話すること
- 特になし
- グループワークは少なめでお願いします
- 支援者が元気になる企画がいいですね
- 初めて交流会に参加させていただいたので、いつ頃からこのような会が開催されているかなど詳しくは知らないのですが、これからも継続していただけるとありがたいです。
- 今回のオープンダイアログをもう少し深めていきたい。
- 多くのステーションの方々と交流できるようにしたい
- 研修自体も楽しかったですが、今回、グループを組んで下さったのが保健師さんと訪問看護師の方でした。そこで保健師さんの活動の事を知ったり、他の訪看の方の話を聞けてとても勉強になったし、とても嬉しかったです。今後もそういう地域でのつながりが広がるような交流会の機会が増えれば嬉しいです。
- いつもありがとうございます。交流の場　今回の様な時間があると地域が繋がる様に思いました。またやってほしいです
- 今回の対話から実際の活かし方みたいなことが次回のテーマになると良いのかなと感じました。
- すぐに思いつかなくてすみません
- ステーション規模では呼ばない講師の講演。
- こうした貴重な場の継続
- 今回のようなテーマとても良いと感じました
- メンタルヘルス、興味があります

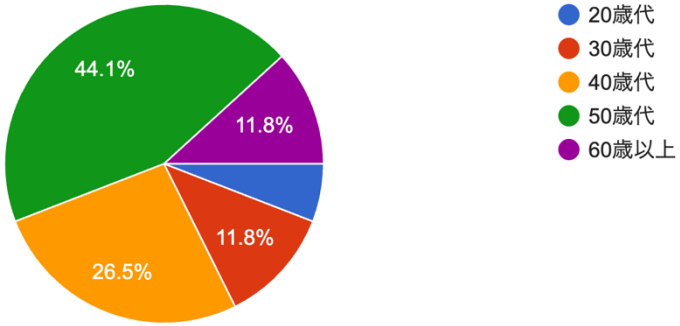
- 交流会は大切だなと思います。
- 交流が持てるような会になるといいなと思いました。
- 元気がでるはいいテーマでした。また違う角度でもあればお願いします
- 看護職以外との交流
- 交流会このまま無理なく続いてほしいです
- 同業者との関わりがもてる会は、リフレッシュにもなりますし、新たな気づきがあったり、モチベーションもあがります。そして顔の見える関係は何よりも安心に繋がります。今後もよろしくお願いいたします。
- 今回の様にフランクに色んなテーマで他事業の方と触れ合い刺激を受けたいです。
- 学ぶ、地域貢献のテーマ決め

9. 今後、取り上げてほしいテーマ。意見等。

- 勉強会もいいですが、今回のように違う世界の参加型の学びは刺激があります。
- 参加費をとってもいいので期待します。
- 今回の交流会に参加できた事がとても嬉しかったです。ありがとうございました。
- 事例検討会
- 自分たちが元気になるためのなにかをしてほしい。働き方改革の講義など。
- 組織での対話
- 心身の健康
- 事例
- 災害時対策

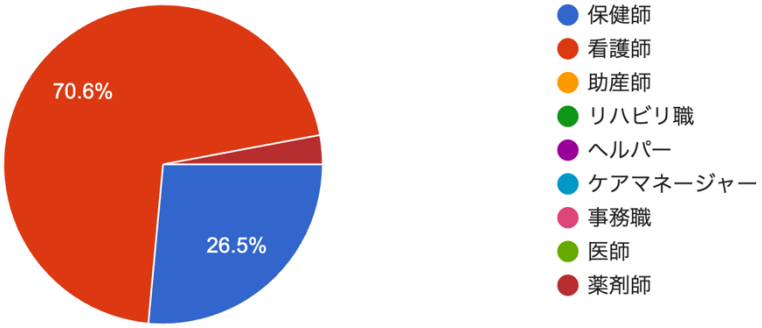
10.あなたのご年齢を教えてください

34 件の回答



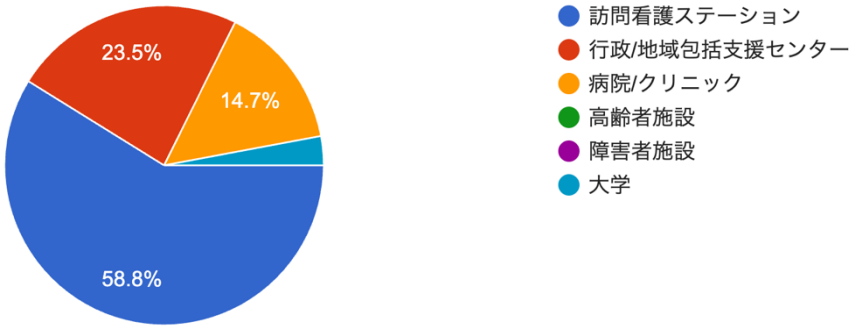
11.職種を教えてください（現在、主として従事している職種をお答えください）

34 件の回答



12.ご所属先を教えてください

34 件の回答



以上